



災害時学校支援チームみやぎ (MIRAI) 発足から5年

令和6年能登半島地震に伴い、MIRAIが能登町の学校を支援して、1年が経過しました。

大規模災害時に、被災地の学校を支援するため、文部科学省では、平時から連携体制を構築し、速やかな支援につなげるためD-E S T（被災地学び支援派遣等枠組み）を構築しました。

現在、本県その他、北海道、三重県、兵庫県、岡山県、熊本県で支援チームが発足しており、先日東北で2例目となるチームが福島県で発足し、全国的に広がりを見せています。

今年度のMIRAI養成研修は、8月から始まり12月までの間に3回開催し、39名が新たに登録され、2月末現在で登録者は195名になりました。

MIRAIメンバーは、平時は各校での学校防災の推進を図るとともに、災害発生時には、支援要請に応じ、被災地の教育復興のため支援活動を行います。



【ロゴマークデザイン：宮城野高等学校生徒】



【養成研修を終えての感想（一部抜粋）】

「災害はいつ起きるか分からないが確実に起きるもの」という言葉を聞いて、平時にどれだけ準備をしておくことが大切かを改めて感じる事ができた。被災自治体のニーズに合わせた支援ができるように、学校の防災・安全について考えたり、防災マニュアルを見直したりしていきたい。

当たり前と感じている平穏な社会が人々の努力によって成立していることに改めて気付かされた。災害が「来ないだろう」と考えたいのは大人も子供も同じかもしれない。子供の方に災害は「来るかもしれない」という意識を指導し、逆にそれを大人に向けて子供の方から発信することもできるのではないかと思った。

防災の知識を蓄積し、災害時の支援の他、学校での避難訓練や安全管理に一層取り組んでいきます。災害大国である日本に生きる一人であり、宮城県の教員として、日々の災害関連の情報にアンテナを高くし、研修で学んだことを生かして防災教育、安全管理、災害時支援に取り組んでいきたいと思えます。

災害支援を行う際には、現場が求めていることを確認して、積極的に活動したいと考えました。特に、現場で疲弊している先生方やつらい経験をした子ども達を少しでも助けてあげたいという気持ちが強くなりました。

高校生が主役！防災・減災を考える

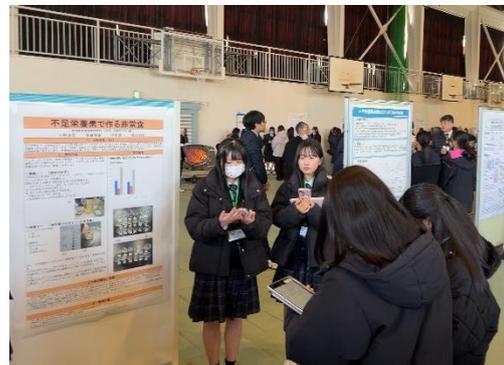
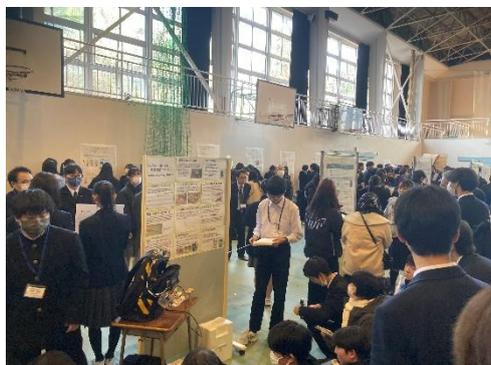
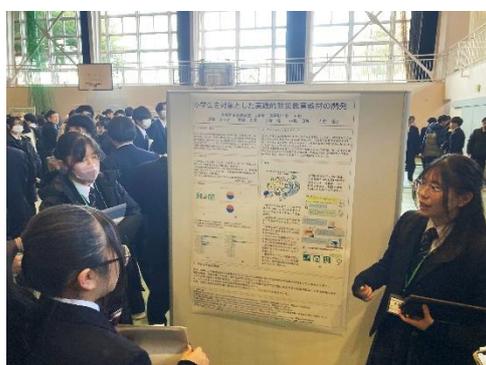
多賀城高校では、平成28年度から東日本大震災の経験と教訓を後世に継承し、さらには国内外の減災に貢献するため、“東日本大震災メモリアル day”を開催してきました。

今年度から、防災や災害対策に加え、昨今の気候変動や環境問題、その他研究発表の場となるよう3.11メモリアル“Re-Dit”ミーティングと名称を変更し、1月31日、2月1日に開催しました。

2日目のポスターセッションでは、北海道から鹿児島県までの県内外29校（多賀城市内の中学校含む）104グループが参加し、日頃の研究成果を発表しました。

学校の課題に焦点を当てた発表や地域づくりについて考えた発表など、高校生ならではの柔軟な考え方を取り入れ、多くのテーマで探究活動を行ってきており、寒い日でしたが、体育館の中は生徒の熱気に満ちていました。

課題解決のため主体的に考え、議論を重ねる高校生の姿がとても頼もしく感じた2日間でした。



東日本大震災の教訓を語り継ぐ

県図書館では、震災の記憶を後世に伝承し、風化を防ぐとともに、今後の防災・減災対策、防災教育等に役立てるため、「東日本大震災アーカイブ宮城」を公開しています。

震災を経験していない子供たちが増えている中、震災の記憶を伝承するとともに、子供たちが災害を自分事として捉え、災害発生時に適切な行動がとれるよう備えておくことがとても重要です。アーカイブ宮城を是非ご活用ください。

- 約304,000点の資料を公開
- 簡単にパワーポイントで資料作成が可能

<https://kioku.library.pref.miyagi.jp/>



【問い合わせ先】

宮城県図書館 資料奉仕部 資料情報・震災文庫班 震災文庫担当
電話：022-377-8498

東日本大震災 アーカイブ宮城 ～未来へ伝える記憶と記録～

<https://kioku.library.pref.miyagi.jp>

The screenshot shows the website interface with a search bar at the top, a navigation menu, and a main content area featuring a photo of a person in a white protective suit and a map of Miyagi Prefecture. The website title is "東日本大震災アーカイブ宮城" and the subtitle is "～未来へ伝える記憶と記録～".